

優先整備路線の検証について

1 1次検証の重みづけに関する市民意向調査

(1) 調査の趣旨

- ・評価項目の重要度は一律ではないため、重要度に応じて各評価項目に重みづけを行う。
- ・各評価指標の重みづけは、市が目指すまちづくりの方向性や道路事業についての知識を有する者とするため、課長職者（15人程度）へのアンケートにより実施するとともに、市民意向調査（市民及び町会長・自治会長）による補正を加え、重要度を決定する。

(2) 計算方法

- ・評価指標を階層化（大項目、中項目、小項目）し、階層ごとに指標を相対的に比べる一対比較（階層分析法）により、各指標の重みを求める。
- ・大項目及び中項目の重要度は、課長職者の回答を平均し算出する。
- ・小項目の重要度は、課長職者の回答を平均して一つとし、市民の回答と町会・自治会長の回答を各々平均したのちに一つの平均とし、その二つを平均することにより算出する。
- ・大項目、中項目及び小項目それぞれの重要度を掛け合わせて、各評価項目の重みづけを行う。

(3) 市民意向調査の方法

- ・協力者は市民と町会長・自治会長から募集する。
- ・市民の募集は、市報（10月15日号を予定）、ホームページ等を活用する。
- ・町会長・自治会長の募集は、各町会長・自治会長（72団体）に募集案内を通知する。
- ・調査は、応募した市民及び町会長・自治会長を集め、趣旨を説明した後実施する。
- ・調査日時及び会場を複数設定（3日間（1日各1回開催））し、応募者の都合に合わせて参加できるようにする。

2 2次検証に関する市民意向調査

(1) 調査の趣旨

- ・必要性及び合理性の評価項目及び評価の視点について、市民意向に沿った内容にするため、市民の2路線に関する意向を調査する。

(2) 市民アンケート

ア 調査対象

(ア) 2路線関係住民

- ・沿線（計300人）
3・4・1号線（200人）及び3・4・11号線（100人）の都市計画道路線からおおむね20m以内に位置する建物にお住まいの方（無作為抽出）
- ・抜け道（計100人）
3・4・1号線及び3・4・11号線の主要な抜け道として考えられる道路に面した建物にお住まいの方（無作為抽出）

(イ) 都立公園利用者

- ・公園内各所で公園を利用されている方

- ・公園管理者との調整の結果、公園管理者から許可を得られない場合は、公園出入口に面した安全の確保できる場所で実施する。
- (7) 近隣の学校、保育園及び幼稚園の関係者
 - ・通学路安全点検に関わった保護者
 - ・園長及び業務従事者

イ アンケート方法

- (7) 2路線関係住民
 - ・アンケート資料（趣旨説明資料、参考資料、アンケート票）を職員が配布する。
※アンケート資料については、5ページ以降参照
 - ・趣旨説明資料は、2路線3,000人アンケート資料（令和2年度実施）などを参考に作成する。
 - ・アンケート票の回収は、郵送、インターネット回答、集会施設等（8か所程度）に設置した回収箱及びFAXとする。
- (4) 都立公園利用者（実施の可否について公園管理者と協議予定）
 - ・現地で3日間程度、趣旨を説明し、2路線の整備に対する意見を聴取する。
 - ・資料は、2路線関係住民に配布する資料を活用する。
 - ・協力者の率直な意見が聴取できるよう匿名とする。
 - ・面談を担当する職員は、課内でロールプレイングによる訓練を実施し、職員二人一組により実施する。
- (7) 近隣の学校、保育園及び幼稚園の関係者
 - ・関係者と相談の上、資料配布・回答の方法又は面談・聴き取りの方法とする。

(3) 団体ヒアリング

ア 調査対象

- (7) 運送事業者
 - ・バス、タクシー事業者
 - ・貨物事業者
- (4) 商工関係団体
 - ・小金井市商工会
- (7) 関係管理者
 - ・交通管理者（小金井警察署）
 - ・道路管理者（小金井市道路管理課、東京都北多摩南部建設事務所）
 - ・河川管理者（東京都北多摩南部建設事務所）
 - ・公園管理者（東京都西部公園緑地事務所（指定管理者：武蔵野の公園パートナーズ））
- (エ) 環境関係団体
 - ・市内で活動している主要な団体（小金井市環境市民会議、野川自然の会等）
- (7) 福祉関係者
 - ・小金井市社会福祉協議会
 - ・高齢者団体、障がい者団体（担当部局と協議の上、対象団体を選定する。）
- (7) 教育及び保育関係者
 - ・担当部局と協議の上、対象団体を選定する。

- (※) 観光関係者
 - ・小金井市観光まちおこし協会
- (㊦) その他
 - ・消防関係（小金井消防署）

イ ヒアリング方法

- ・面談により資料（趣旨説明資料、参考資料）を用いて趣旨を説明し、聴き取りによる方法又は団体側の都合に合わせ、資料（趣旨説明資料、参考資料、アンケート票）を渡し、後日回答を得る方法とする。

3 令和6年8月22日開催の都市計画審議会について

- (1) 開催日時 令和6年8月22日（木） 9：30～12：00
- (2) 当日の進行 優先整備路線の検証について、資料やスライドを使って40分程度説明した。その後、各委員からの意見や質問に応じた。
- (3) 検証方法案に関する主な意見

ア スケジュールや進め方に関するもの

- ・日程に捕らわれている。
- ・未定や今後検討という段階で、意見をもらう意味は何か。進め方はこれで良いのか。
- ・11月14日に予定されている都市計画審議会では議題にならないのか。
- ・スケジュールに無理がある。
- ・次の都市計画審議会の前に、再度都市計画審議会を開催するべきではないか。9月又は10月に都市計画審議会を開催する検討が必要である。
- ・アンケートは時間をかけてやるものだ。
- ・都市計画審議会からの意見聴取は、今後もやっていただきたい。
- ・専門的な方の立場から見ても、スケジュールはタイトだし、チャレンジングとの意見もあった。第五次事業化計画が分かってからでは遅いにならないようにしていただきたい。
- ・予算が必要な場合には、議会に諮り確保していくべき。
- ・市民意向調査をするプロセスと決めていくプロセスを同時に行うのは困難と感じる。
- ・市民意向調査は、研究している立場からすると1年くらい掛かる。今の段階で調査票案が出ていないのは、かなり厳しいのではないか。
- ・国土交通省の手引きでは、変更・廃止した場合の影響を確認とある。代案を示唆しているとも読めるため、スケジュールがタイトに感じる。
- ・次回の都市計画審議会で、市民意向調査など情報提供を行っても良いのではないか。

イ 検証方法に関するもの

- ・重みづけについて行政職が行うことは賛成。市民は感情論が入ってくる。
- ・恣意的であってはならない。公平公正、交通量調査、環境への調査が必要ではないか。時間をかけてもやるべき。疑念があるとして意見を述べたい。
- ・重みづけ部分の共通性と各路線の点数の付け方にジレンマも生まれるのではないか。
- ・生活道路の安全性向上について、視点はゾーン30だけで良いのか。
- ・整備のやり方とセットになる部分もあろうかと思う。
- ・重みづけの概念も加えてやっていくことはチャレンジング。市として責任を持ってやることは評価をさせていただきたい。

- ・東京都は2回にわたって道路概略調査をしている。3つの道路構造を示しているはずだ。案を鑑みた検証をお願いしたい。
- ・抜け道に関し、住民の要望により交通規制している。対策についての対応も期待している。
- ・第四次優先整備路線の市の評価、東京都の評価は一致していると感じる。
- ・生態系など、技術的なことでどこまで緩和できるのか、低減できるのかという意見もある。
- ・東京都の資料は合理性にも該当する。

ウ その他

- ・情報共有として建設環境委員会で答弁調整に2時間程度要していることを都市計画審議会での共通認識としていただきたい。
- ・事業主体が東京都なのに、なぜ市が予算を使っているのかは疑問だったが、説明を聞いて理解した。
- ・パブリックコメントの結果は、圧倒的なバランスである。賛成の人は意見を言わない。この結果についての判断はどうするのか。分析を要望する。
- ・パブリックコメントの意見、仕分については貴重な情報である。データ化してみてもいいか。
- ・事故、市民からの要望の反映について、警察として協力したい。照会してもらえればありがたい。
- ・3・4・11号線の整備を進めてほしいと考えている。消防団員として、ポンプ車が入りづらい。
- ・ヒアリング先に消防を入れてもいいのではないか。
- ・中止要望が大前提としてあるが、3・4・11号線は府中市との関係もある。
- ・反対の方の意見は聞きとりやすい。賛成の方は声を出しにくいためのよう拾っていくか。
- ・東小金井地域の経済、イメージが膨らむような広報活動もすべき。

道路の検証に関するアンケートのお願い

日頃より市政に御理解・御協力を賜りまして、ありがとうございます。

現在、小金井市では都市計画道路の整備に関して、環境への影響等を懸念する整備反対の意見、防災上の必要性等から整備推進の意見がある2つの路線について、整備の効果と整備の影響に関する検証を進めています。

検証項目を作成するため、市民の皆様のご意見を参考にしたいと考えることから、市民アンケートを実施することになりました。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解の上、アンケート調査に御協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年10月 小金井市

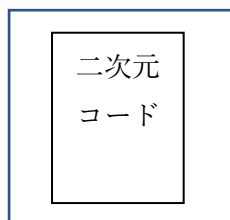
御記入いただいた調査票は、〇〇月〇〇日（〇）までにインターネット又は同封の封筒に入れ、最寄りの集会施設等の回収箱に投函（別紙に記載）又は郵送にて回答してください。

インターネットによる回答、回答用紙による回答は、どちらも同じ設問です。

なお、インターネットによる回答であれば、集計も迅速に行えるため、御協力よろしくお願ひします。

インターネットによる回答をされる場合はこの二次元コードを読み込むか、次のアドレスからアクセスしてください。利用する機器や通信費用等は御本人様の負担となります。

URL ****

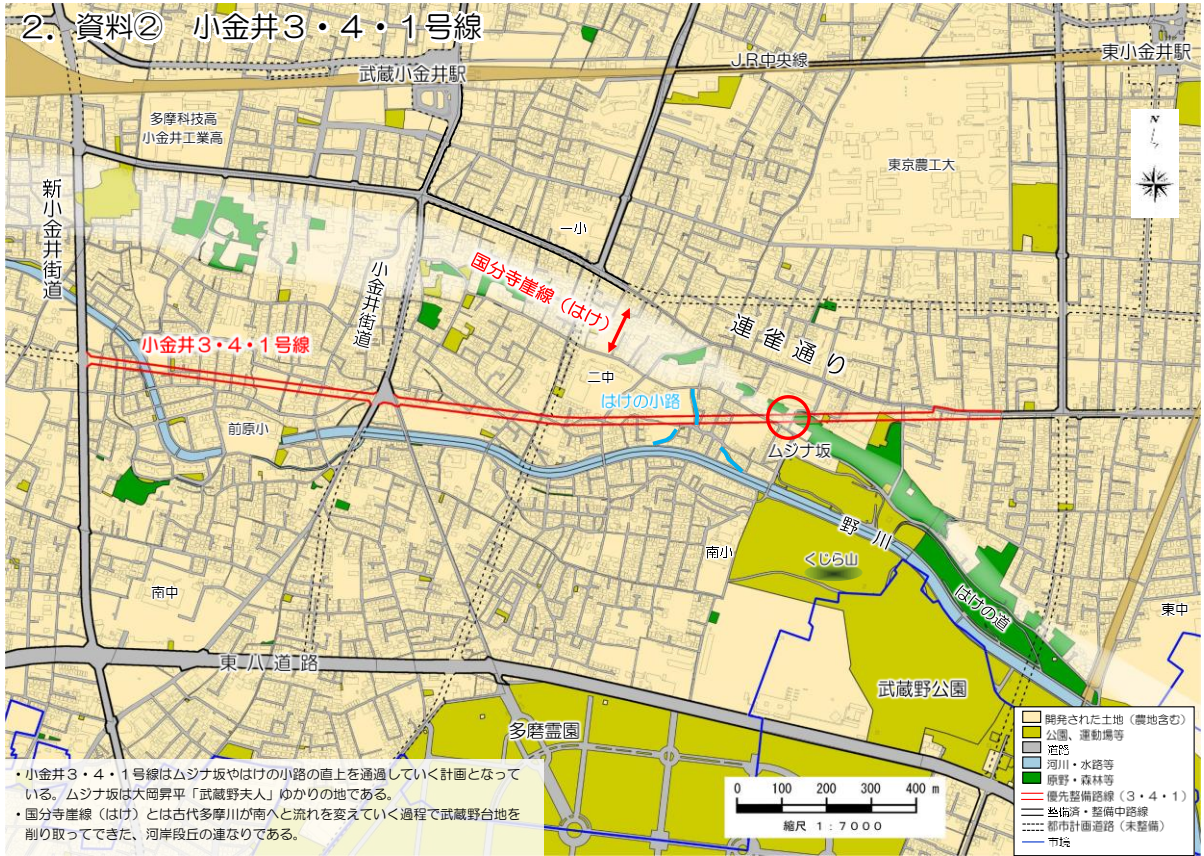


※なお、この調査は都市計画道路沿線にお住いの方から抽出した市民100人の方を対象にお送りしています。このアンケートは個人情報収集のものではありません。結果は統計的に処理し、後日ホームページ及び広報により公表します。

この調査についてのお問合せは、下記までお願いします。

〒184-8504 小金井市本町6-6-3 小金井市役所 都市整備部 都市計画課 都市計画道路担当
電話（直通） 042-387-9859

F A X 042-386-2619



4

5



6

7

本票

ID : 910727

道路の検証に関するアンケート

※ID は個人を特定するもの
では、ございません

【基礎調査】

◆ご年代をお聞かせください。当てはまるもの一つに○を付けてください。

1. 18 歳以上 30 歳未満 2. 30 歳以上 40 歳未満 3. 40 歳以上 50 歳未満
4. 50 歳以上 60 歳未満 5. 60 歳以上 70 歳未満 6. 70 歳以上 7. 回答しない

◆現在の場所にお住まいの年数はどのくらいですか。

居住歴 年くらい

◆どちらの地域にお住まいですか。

記入例：小金井市 本 町 6 丁目 6 番（号以下の記載は不要です。）

小金井市 町 丁目 番

◆都市計画道路について

お住まいの地域に都市計画道路が計画されていることはご存じですか。（別紙1）

当てはまるものに○を付けてください。

1. はい
2. いいえ

◆普段お使いになる主な交通手段についてお聞かせください。当てはまるものに○を付けてください。（複数回答可、いくつでも）

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. 鉄道 5. バイク（原付を含む。）
6. バス 7. タクシー 8. その他（ ）

次ページからは道路の検証項目に関するアンケートです。全部で○問です。

整備の効果に関する検証項目

整備の影響に関する検証項目

の内容について、ご意見をお聞きします。

参考資料に、道路や検証に関する説明もございますので合わせてご確認ください。また、ご不明な点がございましたら、ご案内に記載のお問合せ先にご連絡ください。ご協力よろしくお願ひします。

【検証項目に関する調査】

質問1 交通機能に関する検証項目について

交通機能について、市では道路整備による下記の効果について検討し、調査を進めていきたいと考えております。各検証項目が適切かご意見を教えてください。また、理由も合わせてお聞かせください。

意見あり

↓下記の該当項目に記入ください。

意見なし

↓次ページにお進みください。

検証項目1

道路ネットワーク機能の強化

具体例：府中市（東八道路や甲州街道など）、小平市（五日市街道）などへのアクセスのよさを調査する。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 適切である | 意見・理由 |
| <input type="checkbox"/> 適切でない | |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

検証項目2

周辺道路の交通渋滞の解消

具体例：小金井街道、天文台通り、連雀通りなどの渋滞に対する効果を調査する。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 適切である | 意見・理由 |
| <input type="checkbox"/> 適切でない | |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

検証項目3

生活道路への通過車両の進入

具体例：道路の整備による通り抜け車両を減らす効果を調査する。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 適切である | 意見・理由 |
| <input type="checkbox"/> 適切でない | |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

検証項目4

交通結節点へのアクセス性の向上

具体例：調布ICや国立ICなどへの移動時間が短縮できるか調査する。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 適切である | 意見・理由 |
| <input type="checkbox"/> 適切でない | |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

検証項目5

公共交通不便地域の解消

具体例：バス停や新たな路線などについて検討可能か調査する。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 適切である | 意見・理由 |
| <input type="checkbox"/> 適切でない | |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

検証項目6

歩行者自転車の安全で円滑な移動支援

具体例：事故の状況などを調査し、歩道を整備することによる安全への効果を調査する。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 適切である | 意見・理由 |
| <input type="checkbox"/> 適切でない | |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

以下、他の検証項目についても、同様のアンケート票により調査する。最後に自由記入欄を設ける。

【参考資料】道路の検証に関するアンケートについて

■本アンケートの目的

都市計画道路の小金井3・4・1号線及び小金井3・4・11号線の2路線については、国分寺崖線（はげ）、野川、公園等と重複するため、環境、文化、景観等への影響が懸念される一方で、防災性確保や渋滞解消等の役割が期待されるなど、様々な意見が寄せられています。このことから、市ではこの2路線の必要性等に関する検証を行っていますが、検証に当たり市民の皆様のご意見を参考とするため、本アンケートを実施するものです。

■概要

1 都市計画道路とは

都市計画道路は、都市生活者の利便性の向上、良好な都市環境を確保する上で必要な道路として計画されています。東京都の多摩地域では、昭和36年及び昭和37年に多摩地域全体を見据えた都市計画道路が国によって決定されました。都市における道路の機能としては円滑な移動を確保するための交通機能や、上・下水道、電気、ガスなどの生活を支える施設、都市の骨格や街区の構成等があります。なお、小金井市の都市計画道路の完成率は約49%（令和6年3月末）です。

2 優先整備路線とは

東京都と特別区及び26市2町は「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」（平成28年3月策定）の中で、都市計画道路を計画的・効率的に整備するため、おおむね10年間で優先的に整備すべき路線を選定しています。これを優先整備路線といいます。小金井市域では、優先整備路線として小金井3・4・1号線及び小金井3・4・11号線の2路線が選定されました。

3 2路線が選定された理由

上記の優先整備路線の選定の前提として、今後も必要な都市計画道路なのかどうかの検証（将来都市計画道路ネットワークの検証）が実施され、必要性が確認されました。さらに、安全な歩行者空間の確保や自転車走行空間の充実、混雑の減少、救急医療施設への到着時間の短縮などの理由により、2路線が優先整備路線として選定されました。

4 2路線に関するこれまでの経過について

2つの都市計画道路が優先整備路線に選定されたことについて、これまで市民の方々から多数の御意見や市民団体から東京都知事へ2路線の見直しを求める署名（約1万筆）の提出、市議会への陳情がありました。また、市議会からは意見書や決議などが提出されています。これまでの大まかな経過については下記のとおりです。

■東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）について

- ・平成25年9月 市町の自主運営による市町検討会を設置し、策定まで検討を開始

- ・平成25年10月 都・市町策定検討会議を設置し、策定まで協働で調査検討を開始
- ・専門アドバイザー委員会を設置し、策定まで専門的見地からも助言
- ・平成27年12月 整備方針（案）に対するパブリックコメント募集
- ・平成28年3月 東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）策定

※寄せられたパブリックコメント4, 126件（東京都内全域）

小金井3・4・1号線及び小金井3・4・11号線に関するもの2, 111件
2路線について、整備推進・要望等が70件、廃止・見直しが2, 041件

■東京都による小金井3・4・11号線に関する意見交換会、説明会等

- ・意見交換会は3回開催（平成29年11月、平成30年1月、平成31年2月）
- ・説明会は2回開催（平成30年3月に2回）
- ・オープンハウスは1回開催（令和2年2月に3日間）

■市議会の動向（令和6年7月末現在）

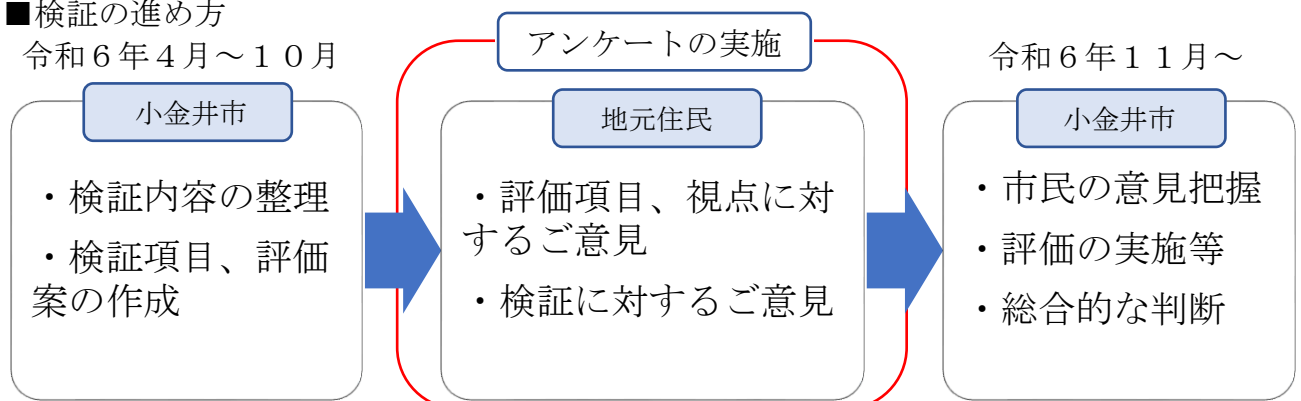
- ・陳情が5件採択（計画の見直し、市民を交えた議論の機会の設置、概略設計など）
- ・意見書が11件可決（計画の見直し、意見交換会の継続、運営方法に関するものなど）
- ・決議が3件可決（市の対応を求めるもの、意見交換会の継続開催の働きかけ、都市計画道路の是非を議論できる場の設置など）

■小金井市の動向

本市のまちづくりの方針である「小金井市都市計画マスタープラン」では、都市計画道路の整備の方針について、「自然環境・景観などの保全を勘案して、必要な道路整備を計画的に進めます」とする一方、「社会経済情勢及び地域のまちづくりの変化などを踏まえ、東京都及び関係市と連携して、都市計画道路の検証を行い、必要に応じて、見直すべきものは見直していきます」としています。このため、2路線については優先整備路線に選定されていますが、市民の皆様の関心が高く整備に関して様々な御意見が寄せられていることから、市では地域固有の視点から検証を進めています。

■検証の進め方

令和6年4月～10月



これまでの詳しい経過についてはこちらから御覧いただけます。

URL ****

二次元
コード